

いつでもおいでや。 子どもも大人も集まるみんなの"さと

大阪市西成区釜ヶ崎。"日雇い労働者の街"と呼ばれてきたこの地で38年にわた り取り組みを続ける「こどもの里」。"さと"と呼ばれるこの場所は、障がいの有無や 国籍の違いに関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用するご とができます。学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、様々な事情から親 元を離れている子・・・そして親や大人たちも休息できる場として、それぞれの家庭 の事情に寄り添いながら、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。本作で は「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたち と、彼らに全力で向き合う職員や大人たちに密着。子どもたちの繊細な心の揺れ 動きを丹念に見つめ、子どもも大人も抱える「しんどさ」と、関わり向き合いながら ともに立ち向かう姿を追いました。



わたしはあんたの味方やで! 現在、求められている"居場所"の原風景



「こどもの里」の取り組みを通して、画面いっぱいにあふれ出る子どもたちや、釜ヶ崎という街 の魅力を捉えたのは、大阪在住の重江良樹監督。「こどもの里」に関心を抱き、関わり、取材 を始めてから足かけ7年、いま、初監督作品として本作を完成させました。音楽は地元・釜ヶ 崎が生んだヒップホップアーティスト、SHINGO★西成。ストレートで飾らないメッセージの中 に、街で生きる人々への熱い思いがつまったSHINGO★西成の楽曲が、生きることそのもの を力強く肯定し、映画全体をあたたかく包み込みます。めまぐるしく移り変わる現代社会のな かで、子どもたちを巡る環境も急激に変化している今、あらためて注目されている「こどもの 里 | の "取り組み"が、これからを歩む私たちに問いかけるものとは――?

こどもの里 とは?

1977年設立の「子どもの広場」を前身とし1980年に現在 の場所で「こどもの里」を開設。以後、子どもたちの遊び場 であると共に、各家庭のケースに応じた短中期的な宿泊機 能、長期的な養育をおこなう里親としての機能を持つ。

こどもたちの 遊びと学び 生活の場です 誰でも利用できます。

こどもたちの遊びの場です。

お母さんお父さんの休息の場です。

学習の場です。

生活相談 何でも受け付けます。

教育相談 何でもききます。

いつでも宿泊できます。

緊急に子どもが一人ぼっちになったら

親の暴力にあったら…

家がいやになったら…

親子で泊まるところがなかったら…

土・日・祝もあいてます

利用料はいりません





監督・播影:軍江良樹 音楽:SHINGO★西成 プロデューサー・構成:大澤一生 編集:辻井潔 音響構成:渡辺丈彦 制作協力:神吉良鑷(ふとっちょの木)、五十嵐孝穂、上田昌宗、吉川諒、機材協力:ビジュアルアーツ専門学校大阪 特別協力:小谷忠典 助成:索文化庁文化芸術振興養補助金 企画:ガーラフィルム 宣伝・配給協力:ウッキー・プロダクション

製作・配給: ノンデライコ 2015/日本/100分/カラー/16:9/5.1ch/DCF 地域連携室

子育て支援

上映後アフタートーク

講師:長迫和宏(北九州市子ども家庭局子育で支援課子ども食堂担当係長

問い合わせ先 地域連携室 Tel:093-583-5243 E-mail:chiiki@seinan-jo.ac.jp

2018年 2月 3日

西南女学院大学6号館6206教室 参加費 無料

9:30 開場 10:00 開演 アフタートークがあります

fb.com/satoeeyan777 9@sato_eeyann

www.sato-eevan.com